

プログラム（第1日目） 12月4日（日）

《 口 演 》

11:00～11:05 開会の辞

第40回日本脳腫瘍学会学術集会会長 成田 善孝

11:05～11:55 シンポジウム1 小児脳腫瘍に対する多施設共同研究

座長 中村 英夫、寺島 慶太

S1-1 初発の頭蓋内原発胚細胞腫に対する多施設共同前向き臨床試験の長期フォローアップ研究

TSA 賞受賞

東京大学 医学部 脳神経外科 高見 浩数

S1-2 初発中枢神経原発胚細胞腫瘍に対するランダム化比較試験, JCCG CNSGCT2021

京都大学 医学部 脳神経外科 荒川 芳輝

S1-3 低線量全脳脊髄照射での治療歴のある髄芽腫における予後分子マーカーの探索

埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科 福岡 講平

S1-4 びまん性内在性橋神経膠腫に対する ACNU 局所投与による多施設共同第II相医師主導治験

名古屋大学 医学部 脳神経外科 齋藤 竜太

S1-5 再発又は増悪したびまん性正中グリオーマに対する OP-10 (ONC201) の第I/II相臨床試験

大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科 岡田 恵子

11:55～12:05 休憩

12:05～13:05 ランチョンセミナー1 脳腫瘍におけるゲノム医療

座長 市村 幸一、吉本 幸司

共催 中外製薬株式会社

LS1-1 小児がんゲノム医療の現状と脳腫瘍における展望

東京大学医学部附属病院 小児科 加藤 元博

LS1-2 がんゲノム医療における C-CAT データと脳腫瘍

国立がん研究センター研究所 がんゲノム情報管理センター 間野 博行

13:05～13:15 休憩

13:15 ~ 14:05 シンポジウム2 がんゲノムプロファイリング検査と治療

座長 篠山 隆司、近藤 聡英

- S2-1 がんゲノム情報管理センター (C-CAT) に登録された成人中枢神経腫瘍の遺伝子解析の現状
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 高橋 雅道
- S2-2 がんゲノム情報管理センター (C-CAT) に登録された小児中枢神経腫瘍の遺伝子解析の現状
国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科 渡辺 祐子
- S2-3 カスタム NGS パネルを用いたグリオーマ 300 例の解析: 分子プロファイルとバイオマーカー
鹿児島大学 医歯学総合研究科 脳神経外科 比嘉那優大
- S2-4 NGS パネルによる成人型神経膠腫の統合分子病理診断: 実運用と今後の課題
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 病理学分野 谷本 昭英
- S2-5 NTRK 融合遺伝子陽性脳脊髄腫瘍の診断と治療ー国内使用例の検討ー
浜松医科大学 脳神経外科 黒住 和彦

14:05 ~ 15:10 シンポジウム3 脳腫瘍のゲノム解析

座長 市村 幸一、武笠 晃丈

- S3-1 【基調講演 1】 全ゲノムシーケンスを用いた脳腫瘍の病態解明と患者還元
国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 鈴木 啓道
- S3-2 大規模全ゲノムシーケンスによる Glioblastoma, IDH-wild type ゲノム異常の統合解析
TSA 賞受賞 国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 中島 拓真
- S3-3 全ゲノムシーケンスによる IDH 変異型 adult-type diffuse glioma の構造異常解析
国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野外科 舟越 勇介
- S3-4 日本人グリオーマ患者におけるチロシンキナーゼ受容体変異のスペクトラム
九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科 吉本 幸司
- S3-5 頭蓋内胚細胞腫瘍 GWAS: BAK1 欠失はエンハンサー活性を減弱し、発生リスクを上昇させる
TSA 賞受賞 国立成育医療研究センター 小児がんセンター 脳神経腫瘍科 寺島 慶太
- S3-6 全ゲノムシーケンスによる髄芽腫の包括的ゲノム解析から明らかになる染色体構造異常
国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 舟越 勇介

15:10 ~ 15:50 シンポジウム 4 脳腫瘍の基礎研究 1

座長 北中 千史、中田 光俊

S4-1 高悪性度神経膠腫に対する低酸素環境を標的とした局所治療：⁶⁴Cu-ATSM PETx

量子科学技術研究開発機構 吉井 幸恵

S4-2 IDH 変異型神経膠腫におけるグルタミン代謝を標的とした治療法の検討

藤田医科大学 医学部 脳神経外科 大場 茂生

S4-3 IDH2 変異神経膠腫の増悪様式—PDX モデルを通じて見いだされたこと—

横浜市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科学 立石 健祐

S4-4 ゲノム編集 iPS 細胞を用いた悪性神経膠腫に対する遺伝子細胞療法の開発と展望

慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 田村 亮太

15:50 ~ 16:05 チェックイン

16:05 ~ 16:35 教育講演 1 AI の医学への応用

座長 嘉山 孝正、木下 学
共催 富士フイルム株式会社

EL1-1 今後の医学領域における AI 研究及び社会実装の展望

国立がん研究センター研究所 医療 AI 研究開発分野 浜本 隆二

EL1-2 脳腫瘍における AI を用いた診断支援

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 高橋 雅道

16:35 ~ 17:15 シンポジウム 5 脳腫瘍の基礎研究 2

座長 黒住 和彦、立石 健祐

S5-1 H3K27M 変異びまん性正中膠腫における遺伝的背景の腫瘍多様性への帰与

TSA 賞受賞

筑波メディカルセンター病院 脳神経外科 三木俊一郎

S5-2 BCL2 依存的経路は中枢性非ジャーミノーマ胚細胞腫の新規治療標的となり得る

順天堂大学 脳疾患連携分野研究講座 藤井 隆司

S5-3 髄芽腫における SLFN11 発現および新たな治療戦略の検討

群馬大学 脳神経外科 中田 聡

S5-4 CBFA 複合体異常が細胞分化を阻害し Group 4 髄芽腫を引き起こす

国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 鈴木 啓道

17:15 ~ 17:45 招待講演 1

座長 西川 亮

IL1 TERT promoter C228T mutation in neural progenitors confers growth advantage following telomere shortening in vivo

Department of Medicine, University of California San Diego / Ludwig Institute for Cancer Research

Frank Furnari

17:45 ~ 18:25 シンポジウム 6 小児脳腫瘍に対する治療

座長 荒川 芳輝、山崎 夏維

S6-1 ジャーミノーマの初期治療終了後残存病変に対する検証

北海道大学 医学研究院 脳神経外科 山口 秀

S6-2 再発小児上肢腫に対する手術・放射線治療の適応

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 鈴木 智成

S6-3 再発・難治性中枢神経系胎児性腫瘍に対する Bev, CPT-11, TMZ 併用療法の有効性と安全性

名古屋大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 芝 良樹

S6-4 直近 11 年間での髄芽腫の転帰（兵庫県立こども病院）

兵庫県立こども病院 小児がん医療センター 脳神経外科 河村 淳史

21:00 ~ 21:30 Night session1 脳腫瘍の遺伝子異常

座長 山口 秀

NS1-1 WHO2021 脳腫瘍分類に基づく島回神経膠腫の治療成績と予後因子についての検討

名古屋大学 医学部 脳神経外科 本村 和也

NS1-2 進展形式に注目した Butterfly glioblastoma の臨床学的・分子学的・画像学的特徴

北里大学 医学部 脳神経外科 柴原 一陽

NS1-3 思春期・若年成人 diffuse astrocytic tumor の臨床像と遺伝子学的特徴

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学 米澤 大

NS1-4 異形性および退形成性髄膜種の WHO CNS5 に基づく遺伝子学的再評価

順天堂大学 医学部 脳神経外科 清水勇三郎

21 : 30 ~ 22 : 00 Night session2 脳腫瘍基礎研究 1

座長 高見 浩数

NS2-1 CRISPR/Cas9 システムによる変異 IDH1 阻害剤との合成致死標的の探索

名古屋大学 医学部 脳神経外科 前田 紗知

NS2-2 SCD 阻害剤は lipolysis を促進して IDH 変異神経膠腫の apoptosis を誘導する

浜松医科大学 医学部 脳神経外科 山崎 友裕

NS2-3 空気プラズマ照射液はフェロトーシス様細胞死を誘発してグリオブラストーマを傷害する

一般社団法人プラズマ化学生物学的研究所 落合 祐之

NS2-4 Myc を標的とした髄芽腫の新規治療の開発研究

佐賀大学 医学部 脳神経外科 伊藤 寛

22 : 00 ~ 22 : 30 Night session3 脳腫瘍基礎研究 2

座長 大場 茂生

NS3-1 高齢者膠芽腫患者に特異的に発現する新規 microRNA および標的遺伝子の発現解析

愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 山下 大介

NS3-2 TK 発現ヒト脱落乳歯歯髄幹細胞を用いた自殺遺伝子療法による抗腫瘍効果

浜松医科大学 脳神経外科 小泉慎一郎

NS3-3 難治 posterior fossa type A (PFA) ependymoma に対する新規治療法開発に向けた試み

横浜市立大学 医学部 医学科 村松 俊希

NS3-4 腫瘍溶解ウイルスによる NOTCH 経路活性化と腫瘍微小環境の解明

岡山大学大学院 脳神経外科 大谷 理浩

22 : 30 ~ 23 : 00 Night session4 脳腫瘍基礎研究 3

座長 富山 新太

NS4-1 免疫チェックポイント阻害剤による転移性脳腫瘍発生率の低下と、抗腫瘍免疫機序の解明

岡山大学大学院 脳神経外科 劔持 直也

NS4-2 膠芽腫スフェロイドモデルにおける遺伝子発現解析と NK 細胞の傷害活性についての検討

市立奈良病院 脳神経外科 森本 亮之

NS4-3 MAIT 細胞・MR1 は膠芽腫において好中球・MDSC への関与を通して免疫抑制的機能を担う

米国国立癌研究所 神経腫瘍学研究部 基礎免疫分野 花 大洵

NS4-4 組織透明化手法を用いた神経膠腫マウスモデルの腫瘍辺縁形状と MRI T2 信号の評価

国立がん研究センター 脳脊髄腫瘍科 大村 鷹希

《 ポスターセッション 》

21:00 ~ 21:30 ポスター 1 疫学・長期治療経過

座長 山本 哲哉

P1-1 国内における原発性脳腫瘍の頻度

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 成田 善孝

P1-2 Incidental low-grade glioma の治療成績：メタアナリシスによる bias の補正

淡海医療センター 脳神経外科 中洲 敏

P1-3 当科における斜台部脊索腫の長期治療成績

熊本大学病院 脳神経外科 篠島 直樹

P1-4 当科での Sphenoorbital meningioma の治療方針と治療成績

大阪公立大学大学院 医学研究科 脳神経外科 長濱 篤文

21:00 ~ 21:30 ポスター 2 分子マーカー

座長 里見 介史

P2-1 膠芽腫におけるベバシズマブによる VEGF 以外の血管新生因子に与える影響

慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 江崎 雄仁

P2-2 遺伝子型別の神経膠腫における術中フローサイトメトリーの特徴

東京女子医科大学 脳神経外科 郡山 峻一

P2-3 Li Fraumeni 症候群に合併した成人膠芽腫の臨床および分子生物学的特徴について

名古屋大学 医学部 脳神経外科 木部 祐士

P2-4 網羅的発現解析を用いた聴神経腫瘍における再発因子の検討

岡山大学大学院 脳神経外科 牧野 圭悟

21:00 ~ 21:30 ポスター 3 遺伝子変異・メチル化

座長 黒瀬 顕

P3-1 大規模データ及びゲノムワイドメチル化解析による毛様細胞性星細胞腫の予後因子の検討

岡山大学大学院 医学部 脳神経外科 駿河 和城

P3-2 小児脳腫瘍におけるゲノムワイドメチル化解析を用いた診断の有用性と限界

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科 井上 陽平

P3-3 SKY(Spectral Karyotyping) 法を用いたグリオーマにおける染色体不安定性の検討

久留米大学 医学部 脳神経外科 音琴 哲也

P3-4 IDH-mutant 神経膠腫における CDKN2A/B 欠失の予後への影響

九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科 尾辻 亮介

21:00 ~ 21:30 ポスター 4 遺伝子パネル

座長 有田 英之

P4-1 化学放射線療法後に IDH 変異の体細胞モザイクを示して再発した astrocytoma の 1 例

東京女子医科大学 病理学講座 増井 憲太

P4-2 脳腫瘍特化型カスタムパネルによる網羅的迅速分子診断法の確立

国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 中島 拓真

P4-3 カスタム遺伝子パネル検査による統合分子病理診断 RNA 融合遺伝子パネルの重要性

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 病理学 赤羽 俊章

P4-4 がん遺伝子パネル検査を用いた悪性脳腫瘍に対する precision medicine

宮崎大学 医学部 脳神経外科 渡邊 孝

21:00 ~ 21:30 ポスター 5 基礎研究 1

座長 石内 勝吾

P5-1 悪性神経膠腫に対するポドプラニンを標的とした近赤外光線免疫療法

新潟大学脳研究所 脳神経外科 棗田 学

P5-2 インテグリン標的を有する新規ホウ素化合物を用いたホウ素中性子捕捉療法の基礎的研究

大阪医科薬科大学 医学部 脳神経外科 辻野 晃平

P5-3 幹細胞治療研究のための転移性脳腫瘍マウスモデルの構築

慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 北村 洋平

P5-4 グリオブラストーマの浸潤における ALCAM の機能的役割についての検討

大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 館 哲郎

21:00 ~ 21:40 ポスター 6 基礎研究 2

座長 秀 拓一郎

P6-1 グリオーマ幹細胞に対するアミノレブリン酸を用いた光線力学療法に低酸素が与える影響

大阪医科薬科大学 医学部 脳神経外科 野々口直助

- P6-2 MDM4 阻害により p53 活性化効果を有する CEP-1347 の神経膠腫細胞に対する有効性の検討
山形大学 医学部 腫瘍分子医科学講座 水戸部祐太
- P6-3 髄膜腫の培養法確立と GREM2-BMP シグナル経路が増殖、血管新生へ及ぼす影響の解明
宮崎大学 医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 横上 聖貴
- P6-4 膠芽腫幹細胞と分化型膠芽腫細胞を同時標的とした薬剤併用療法の検討
岡山大学大学院 脳神経外科 平野秀一郎
- P6-5 膠芽腫幹細胞における CD146 の発現阻害による増殖抑制機構の検討
高知大学 医学部 脳神経外科 藤田 昇平

21:00 ~ 21:30 ポスター 7 基礎研究 3

座長 齋藤 紀彦

- P7-1 DICER1 変異頭蓋内肉腫に対する分子標的治療開発に向けた取り組み
横浜市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科学 本間 博邦
- P7-2 髄膜腫における CD44 の発現についての検討
北海道大学大学院 医学研究院 脳神経外科 澤谷 亮佑
- P7-3 悪性グリオーマの局所治療を目指したスマートナノファイバーメッシュの開発
国立研究開発法人 物質・材料研究機構 大江 笑北
- P7-4 CRISPR/Cas9 を用いた CIS 欠損 NK 細胞の膠芽腫に対する抗腫瘍効果の検討
奈良県立医科大学 医学部 脳神経外科 前岡 良輔

21:00 ~ 21:30 ポスター 8 基礎研究 4

座長 稲生 靖

- P8-1 神経膠芽腫に対して抗腫瘍効果をもつ化合物の探索
静岡県立大学 薬学部 薬学科 分子病態学分野 岩清水苑夏
- P8-2 ショウガ抽出物である Compound A は神経膠腫に対して抗腫瘍作用を示した
静岡県立大学 薬学部 分子病態学分野 稲井 恭子
- P8-3 既存片頭痛薬ロメリジンは STAT3 を標的とした強力な抗グリオーマ幹細胞効果を有する
金沢大学 脳神経外科 一ノ瀬惇也
- P8-4 膠芽腫に対する ribavirin および EZH2 阻害薬の分化促進作用による抗腫瘍効果の検討
日本大学 医学部 脳神経外科系 神経外科学分野 大山健太郎

21:30 ~ 22:00 ポスター 9 基礎研究 5

座長 溝口 昌弘

P9-1 ROS1 fusion gene を伴う IDH1 変異 glioma の治療例

横浜市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科学 大島 聡人

P9-2 BAP1 変異を伴う高悪性度脳実質外腫瘍の新規治療法開発に向けた取り組み

横浜市立大学 医学部 脳神経外科 田中 多聞

P9-3 膠芽腫に対する temozolomide、perampanel 2 剤併用療法の効果の検討

日本大学 医学部 脳神経外科学系 脳神経外科学分野 西出 拓馬

P9-4 膠芽腫に対する temozolomide, interferon- β , ribavirin 3 剤併用療法の効果の検討

日本大学 医学部 脳神経外科学系 脳神経外科学分野 谷澤 元気

21:30 ~ 22:00 ポスター 10 高次機能

座長 峰晴 陽平

P10-1 脳腫瘍術後の文字言語障害患者における病巣局在研究

福島県立医科大学附属病院 リハビリテーションセンター 二村美也子

P10-2 右大脳半球膠芽腫における腫瘍浸潤は高次脳機能低下の原因となる

金沢大学 リハビリテーション科学領域 中嶋 理帆

P10-3 小脳腫瘍における高次脳機能変化

がん・感染症センター都立駒込病院 脳神経外科 矢島 寛久

P10-4 神経膠腫周術期, 2 か月後の高次脳機能, ADL 能力, QOL, 社会復帰における左右半球の比較

東京女子医科大学 リハビリテーション部 角田 明子

21:30 ~ 22:00 ポスター 11 小児脳腫瘍 (診断)

座長 渡辺 祐子

P11-1 小児脳腫瘍における RNA パネル解析を用いた NTRK, ROS1, ALK 遺伝子融合異常の同定

名古屋大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 清水 大輝

P11-2 Diffuse hemispheric glioma, H3 G34-mutant における画像所見と予後についての検討

岡山大学大学院 脳神経外科 家護谷泰仁

P11-3 髄芽腫における perfusion と vascularity に関する考察

京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経機能再生外科学 山中 巧

P11-4 小児後頭蓋窩腫瘍における術前 MRI の特徴と術中出血量に関する検討

京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経機能再生外科学 岡本 貴成

22:00 ~ 22:30 ポスター 12 小児脳腫瘍の治療と妊孕性

座長 福岡 講平

P12-1 再発小児神経膠腫に対する Bevacizumab 療法の安全性および有効性の検討

大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 香川 尚己

P12-2 当科にて経験した BRAF V600E mutation が確認された小児神経膠腫症例

北里大学 医学部 脳神経外科 百武 佑理

P12-3 脳腫瘍患者における妊孕性温存療法の現状と課題

名古屋大学 医学部 脳神経外科学 山口 純矢

P12-4 当院における妊娠合併脳腫瘍の治療経験

三重大学 医学部 脳神経外科 毛利 元信

21:30 ~ 22:00 ポスター 13 AI・Radiogenomics

座長 木下 学

P13-1 深層生成モデルの Radiogenomics への応用

国立がん研究センター 医療 AI 研究開発分野 高橋 慧

P13-2 深層学習を用い、MRI 画像から分子異常に基づく脳腫瘍分類を予測する試み

名古屋大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 西川 知秀

P13-3 GRID によるマルチモダリティを用いた術前シミュレーション：CT データの最適化

杏林大学医学部附属病院 放射線部 山口 隼平

P13-4 T1 強調画像 / T2 強調画像比 (rT1/T2) による神経膠腫の IDH 遺伝子変異予測

旭川医科大学 脳神経外科学講座 真田 隆広

21:30 ~ 22:00 ポスター 14 免疫治療

座長 石川 栄一

P14-1 Diffuse midline glioma に対する樹状細胞免疫療法を目的とした手術介入の是非

東京慈恵会医科大学 医学部 脳神経外科 赤崎 安晴

P14-2 悪性神経膠腫に対する WT1-W10 免疫療法

高知大学 医学部 脳神経外科 川西 裕

P14-3 炎症性サイトカインが示すグリオーマに対する実験的抗腫瘍活性研究

日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科 足立 好司

P14-4 臨床検体を用いた膠芽腫細胞の治療標的抗原の同定と CAR-T 療法への展開

大阪大学 医学部 脳神経外科 黒田 秀樹

21:30 ~ 22:10 ポスター 15 Bevacizumab

座長 佐藤 憲市

P15-1 転移性脳腫瘍が原因となった症候性 / 難治性脳浮腫に対する VEGF 標的療法の効果

広島大学病院 脳神経外科 山崎 文之

P15-2 初発膠芽腫に対するネオアジュバントベバシズマブ治療の MRI 所見と腫瘍微小環境の解析

東京慈恵会医科大学 脳神経外科 武井 淳

P15-3 悪性神経膠腫に対するベバシズマブ治療効果予測における画像的指標の検討

鳥取大学 医学部 脳神経外科 細谷 朋央

P15-4 悪性神経膠腫に対する Bevacizumab 投与後に脳出血を発症した症例の検討

和歌山県立医科大学 脳神経外科 佐々木貴浩

P15-5 当院における膠芽腫終末期医療とベバシズマブの意義

千葉大学大学院 医学研究院 脳神経外科 松谷 智郎

21:30 ~ 22:20 ポスター 16 高齢者膠芽腫

座長 百田 洋之

P16-1 高齢者の認知機能と QOL を重視した悪性脳腫瘍の治療戦略

国立長寿医療研究センター 脳神経外科 百田 洋之

P16-2 膠芽腫患者における入院中 KPS 低下に関与する臨床的要因

順天堂大学医学部附属練馬病院 脳神経外科 菱井 誠人

P16-3 高齢膠芽腫患者での現状と課題

大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 沖田 典子

P16-4 高齢者膠芽腫に対する治療成績

京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経機能再生外科学 谷川 成佑

P16-5 高齢者膠芽腫におけるベバシズマブ治療 —積極治療困難例に対する可能性—

広島大学 脳神経外科 高安 武志

P16-6 全摘不能・低 PS を伴った高齢者初発膠芽腫に対するペバシズマブ上乗せの臨床的有用性

東京慈恵会医科大学附属病院 脳神経外科 東本 杏一

21:30 ~ 22:00 ポスター 17 神経放射線診断 1

座長 國枝 武治

P17-1 Glioma の FLAIR 異常信号域における APT imaging を用いた新たな評価

福井大学 医学部 脳神経外科 山内 貴寛

P17-2 膠芽腫における FLAIR 高信号域の変化と予後の関連

山形大学 医学部 脳神経外科学講座 松田憲一郎

P17-3 T2-FLAIR ミスマッチサインによる星細胞腫の CDKN2A/B 共欠失の予測

広島大学病院 脳神経外科 大西 俊平

P17-4 膠芽腫における白質 T2 低信号の臨床的意義

東北大学大学院 医学研究科 神経外科学分野 下田 由輝

22:00 ~ 22:30 ポスター 18 神経放射線診断 2

座長 浅野研一郎

P18-1 脳腫瘍診断における ASL の有用性

長崎大学 脳神経外科 日宇 健

P18-2 中枢神経系原発悪性リンパ腫，膠芽腫の鑑別における 123I-IMP/201TI SPECT の有用性

前橋赤十字病院 脳神経外科 大澤 祥

P18-3 髄内腫瘍における術前 3D fusion 画像を用いた術前 planning—専攻医教育のために—

山口大学医学部附属病院 脳神経外科 貞廣 浩和

P18-4 Cystic formation of germinoma and malignant lymphoma

広島大学病院 脳神経外科 Ikbar Novita

22:00 ~ 22:30 ポスター 19 放射線治療

座長 井垣 浩

P19-1 血管芽腫に対する放射線治療成績について

京都大学大学院 医学研究科 放射線腫瘍学・画像応用治療学 宇藤 恵

P19-2 視床および脳幹部神経膠腫の照射後経過

国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 清水 友理

P19-3 複数ホウ素薬剤同時併用によるホウ素中性子捕捉療法の可能性

大阪医科薬科大学 医学部 脳神経外科 川端 信司

P19-4 再発膠芽腫に対するガンマナイフとベバシツマブを併用した AVAgamma 療法の治療成績

中村記念病院 脳神経外科 脳腫瘍センター ガンマナイフセンター 佐藤 憲市

22:00 ~ 22:40 ポスター 20 脳腫瘍患者のアンメット・ニーズ

座長 副田 明男

P20-1 がん患者のアンメット・ニーズ調査 2022：中間解析結果

NPO 法人脳腫瘍ネットワーク ガテリエ ローリン

P20-2 中枢神経系悪性リンパ腫の治療経過における QOL 評価

杏林大学 医学部 脳神経外科 山岸 夢希

P20-3 神経膠腫患者における術後半年の健康関連 QoL(HRQoL) が術後長期の全身状態に与える影響

東京大学 医学部 脳神経外科 久ヶ澤一葉

P20-4 グリオーマ患者の術前の倦怠感評価から見てきたこと

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 櫻井 卓郎

P20-5 脳腫瘍患者に対する退院後の家庭生活レベル (GROS) に基づいたリハビリテーションの評価

五反田リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科 手嶋 沢音

22:00 ~ 22:30 ポスター 21 病態解明

座長 安達 淳一

P21-1 Primary melanocytic tumors of the CNS の 3 症例

久留米大学 医学部 脳神経外科学講座 小牧 哲

P21-2 自施設で経験した giant cell glioblastoma の検討

熊本大学 医学部 脳神経外科 黒田順一郎

P21-3 当院で経験した rosette forming glioneuronal tumor の 4 例

九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科 藤岡 寛

P21-4 悪性神経膠腫剖検 10 症例からみる終末期の病態解析

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 平井 希

22 : 00 ~ 22 : 30 ポスター 22 グリオーマの長期経過

座長 菱井 誠人

P22-1 Eloquent area glioma 長期生存症例の悪性転化再発時の治療の選択

宇都宮脳脊髄センターシンフォニー病院 丸山 隆志

P22-2 当院における Tectal glioma の臨床的・組織学的検討について

岡山大学大学院 脳神経外科 井本 良二

P22-3 Glioma 摘出後経過観察例の再発時治療と経過

東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 生田 聡子

P22-4 Astrocytoma, IDH-mutant の治療成績

獨協医科大学 脳神経外科 宇塚 岳夫

22 : 00 ~ 22 : 40 ポスター 23 5ALA・光線力学療法

座長 山本 淳考

P23-1 当施設における悪性脳腫瘍に対する 5-ALA 強陽性所見の検討

昭和大学 脳神経外科 近 貴志

P23-2 光線力学療法を併用した初発膠芽腫の再発パターンについて

岐阜大学 脳神経外科 中山 則之

P23-3 光線力学的療法を行った悪性神経膠腫の再発分析

東京医科大学 脳神経外科学分野 深見真二郎

P23-4 初発膠芽腫に対する光線力学的療法後初回局所再発例の臨床病理像

総合病院 厚生中央病院 脳神経外科 吉岡 大和

P23-5 悪性神経膠腫に対する組織内光線力学療法 (i-PDT) の基礎実験

東京医科大学 医学部 脳神経外科学分野 永井 健太